



農業講座

しまなみ農業だより ウメの管理について

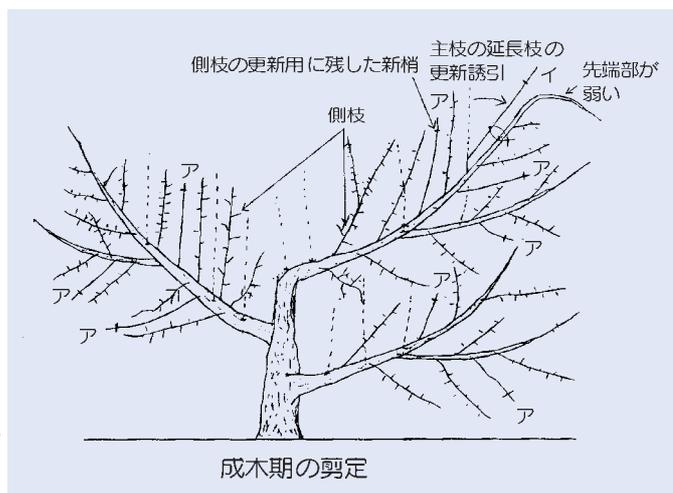
ウメは梅干しや梅酒用に、家庭の庭先や畑のすみに植えられています。幹から長い枝が何本も出て、どうしたらいいのかわからない方法（せんてい）を教えてくださいという質問をよく受けます。今回は家庭果樹の代表「ウメ」の整枝剪定方法（せいしせんていほうほう）について解説します。

ウメの冬季（せんてい）の剪定時期は、落葉後（らくようご）から開花までに行います。近年（だんとうけいこう）は暖冬傾向でウメの開花が早い時があるので注意します。

■樹形

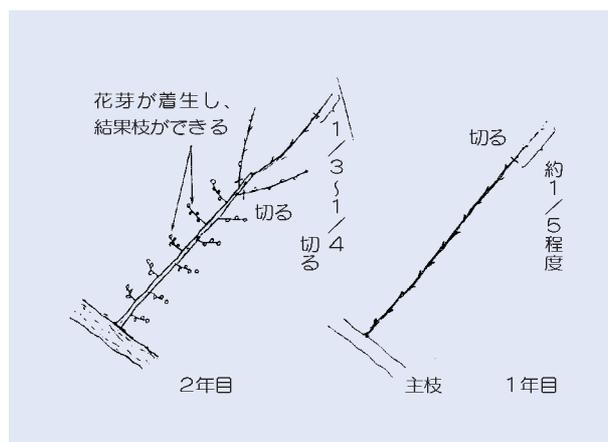
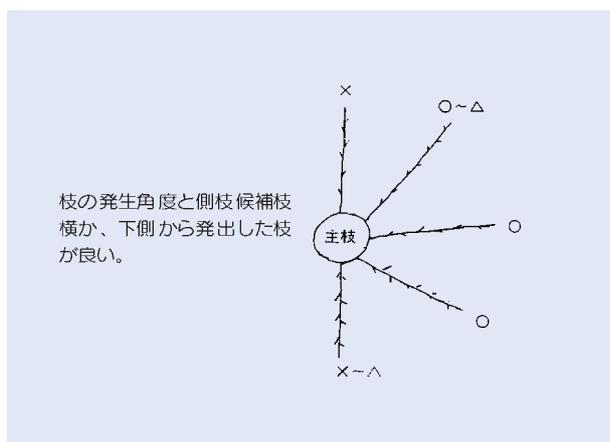
樹形（じゆけい）を整えるため太い枝を主枝として3本に整理します。樹形は枝を広げ気味に配置（ぎみ）します（図参照）。枝の先端（せんたん）は1本に整理し、弱ってきたら（枝が垂れたり黒くなる）若々しい枝まで戻って枝を更新（か）します。枝先が弱ってくると幹（か）から徒長枝（とちようえだ）が出やすくなります。

⇒ 点線は除去する枝を示す



■枝の切り方

徒長枝（とちようえだ）の処理は、ほとんどは元から取り除き整理する機会が多いですが、先端（せんたん）を弱めに切り返し、次の年に実のなりやすい弱い枝を出させる切り方（きりかた）もあります。幹の直上から出る強い枝は、幹（か）の側（かた）から除去（じょきよ）し、中庸（ちゆうよう）な枝は先端（せんたん）を1/5程度を切り返します（図参照）。何年も実をならせた枝やすそ枝は除去（じょきよ）します。



■剪定のポイント

ウメは枝を広げた樹形にすることと、徒長枝（とちようえだ）の整理（せいり）、枝先端（えだせんたん）の維持（いじ）が重要（じゆう）になります。枝の残し方（かた）は、強い徒長枝（とちようえだ）の多い木は枝を切る量を控えます。徒長枝（とちようえだ）は必ず出るので枝の配置（けいざい）を考えて整理（せいり）していきます。

まずは、はさみ、のこを持って枝を切ってみてください。そして花の咲き方（さきかた）、実の成り具合（ぐあい）、枝の伸び方（のびかた）を観察（くわんさつ）してください。